



協会ニュース

第20号

平成17年1月20日発行

編集発行人/服部 桂 〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町15-17 (日本基礎技術株式会社内) TEL (03) 3476-5721 FAX (03) 5489-7821
 [ホームページURL] <http://www7.ocn.ne.jp/~rta/>

年頭にあたって

岩盤削孔技術協会会長

三谷 健



明けましておめでとうございます。

当協会が大口径岩盤削孔研究会として発足したのは、平成元年11月でした。その後、名称を岩盤削孔技術協会と変え、研究会が発足した平成元年から数えて、今年は17周年になります。その間、厳しい経済状況下にあっても、会員皆様のご努力によって当協会も着々と実績をあげております。ひとえに会員皆様の協力のおかげと感謝いたしております。

本年は、昨年にもまして経済状況は厳しくなることとされます。経済産業省の調べでは、企業の経営課題で、建設業・製造業ともに経営戦略として経営革新型対応(工法・製品の低コスト化、高付加価値工法・製品開発への取り組み、研究開発活動への取り組み、ITの活用<コスト、品質、サービス、スピードを劇的に改善するために、ビジネス・プロセスを根本的に考えなおし、抜本的にそれをデザインしなおす。情報技術をフルに活用、企業体質や構造などを変革し、新たな競争力を構築する>)をとった企業の売上が良好となっております。

ここで一番踏ん張って、この困難を乗り越えれば、必ずや明るい未来の光が見えてくるはずですよ。

協会もできるだけ経費を切りつめて、会員の皆さんと協力して、地道ではありますが、実のある仕事に集中していくつもりです。

積算資料の提供については、(社)日本建設機械化協会殿における国土交通省・関係公団・関係業界の方々による「大口径岩盤削孔技術委員会」で、オーガ掘削工法・ケーシング回転掘削工法・ロータリー掘削工法・パーカッション掘削工法の4工法について、(社)日本建設機械化協会殿により「大口径岩盤削孔工法の積算」を発刊していただいております。

岩盤分類の研究については、現在の岩盤削孔のための岩盤分類は、主に1軸圧縮強度を指標にしておりますが、硬岩

と判定される岩盤の領域が非常に広く、所定の掘削時間で掘削できない場合が多々あります。

このような状況に鑑み、学識経験者および発注官庁の専門の方々による「削孔を対象とした岩盤分類検討委員会」(委員長・西松裕一東大名誉教授)で統一された岩盤分類について検討を行い、「削孔を対象とした岩盤分類報告書」(削孔を対象とした岩盤分類検討経緯、岩盤分類に関するデータの収集状況、削孔を対象とした岩盤分類(案))のとりまとめを行い、発刊いたしました。

大口径岩盤削孔工法・施工機械技術資料の発刊については、オーガ掘削工法、ロータリー掘削工法、パーカッション掘削工法、ケーシング回転掘削工法の概要、掘削工法・機械一覧の技術資料のとりまとめを行い、発刊いたしました。

リーダ式ケーシング回転掘削工法積算資料の作成については、適用範囲、工法の概要、リーダ式ケーシング回転掘削工法の標準積算、参考資料のとりまとめを行い、発刊いたしました。

岩盤削孔技術協会カタログについては、大口径岩盤削孔工法、工法分類と適用地質(オーガ掘削、ロータリー掘削、パーカッション掘削、ケーシング回転掘削)、施工実績のとりまとめを行い、発刊いたしました。

会員施工会社施工実績調査表(平成15.4～平成16.3)についてはオーガ掘削工法、ロータリー掘削工法、パーカッション掘削工法、ケーシング回転掘削工法の施工実績と分析を行って発刊いたしました。

岩盤削孔技術協会工法紹介ビデオについては、より多くの技術者に削孔技術の正しい知識を習得していただくため、大地の特性、岩盤と削孔特性、様々な削孔技術、これからの土木を内容としたビデオ(岩盤を掘る19分)の制作を行い、発刊いたしました。

岩盤削孔技術協会ホームページについては、協会の情報および会員会社の情報を、国内はもとより海外にも提供しております。また協会のホームページリンクによって、会員会社のホームページを瞬時に参照することもできます。アクロバットリーダーの利用により、協会ニュースなどの多量の情報を得ることもできます。

社会環境の厳しい中であって、協会は堅実に力強く一步一步歩んでいます。今年こそは、みんなで良い年にしましょう。

委員会活動報告

1. 運営委員会 2回(継続)

平成16年8月27日～平成16年11月26日

- ・リーダ式ケーシング回転掘削工法の日歩掛りの審議
- ・協会ニュースの審議
- ・ホームページの審議

- ・見学会の審議・開催・報告
- ・予算の審議
- ・積算資料発刊報告
- ・再入会会員の審議

2. リーダ式ケーシング回転掘削工法日歩掛り分科会 2回(継続)

平成16年8月27日～平成16年11月26日